世界のヘルスケアをリードする
Johnson & Johnson

ACUVUE®
BRAND CONTACT LENSES

「アキュビュー」製品を安全にご使用いただくために、ご注意いただきたいこと

～はじめに～

このリーフレットは、皆さまが「アキュビュー」製品をお取り扱いいただくなかで、
私どもが日頃からお問合せなどを受ける項目の一部について、
注意事項等を記載しています。全ての事項を網羅しているわけではありませんので、
製品のご使用前には必ず添付文書をお読みください。
また、定期検査は目に異常を感じなくても必ず受けてください。

目 次

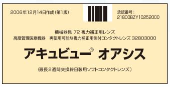
- 製品用語 …… 2
- レンズ装用の前に …… 3
- シュリンク包装の開け方 …… 4
- 製品パッケージの開封方法とブリスターパッケージの切り離し方 …… 4
- 開封前のレンズの確認 …… 5
- ホイルのはがし方 …… 6
- レンズを取り出す …… 7
- 開封後のレンズの確認 …… 7
- レンズのつけ方・はずし方 …… 8
- レンズケア（レンズの洗浄方法） …… 9
- レンズの保管方法 …… 10
- レンズに異常が起きる原因、その対処方法 …… 11
  - ・レンズの縁が波を打っている
  - ・レンズが変形している
  - ・レンズを装着してから数日後に見えなくなった／曇ってきた
  - ・保存液が目にしみる（レンズをつけたら、目にしみた）
  - ・レンズが目からはずしづらい
  - ・レンズが変色した
  - ・レンズがカールしている
- 守っていただきたい4つのルール …… 18
- 買う日・捨てる日メール …… 18

製品用語

製品パッケージ（二次包装）

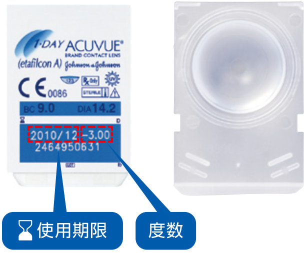
〈箱の裏または側面〉
※写真と異なるものもあります。

添付文書（同梱）



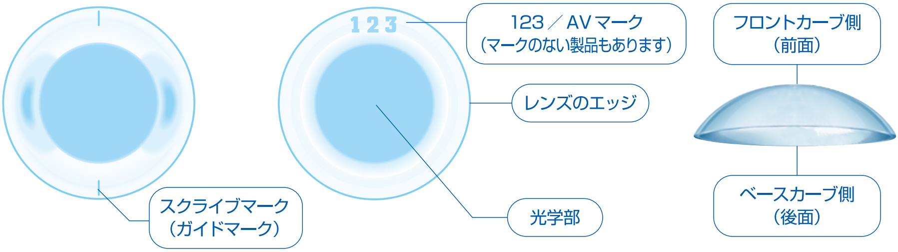
各製品名が記載された
文書が添付されています。

ブリスターパッケージ（一次包装）



※写真と異なるもの
もあります。

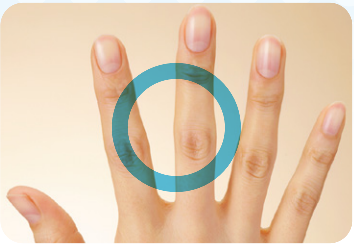
レンズ



ケア用品（化学消毒剤）
MPS（マルチパーパスソリューション）…1 液で洗浄・すすぎ・消毒・保存できるケア用品
過酸化水素系消毒剤…過酸化水素で消毒を行った後、中和剤等で中和するケア用品

レンズ装用の前に

1. 爪が伸びている場合は短く、角が無いように切ってください。爪が伸びていると、レンズを傷つける場合があります。

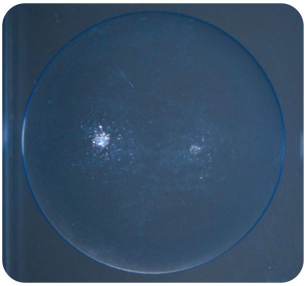


2. 手指を石鹸できれいに洗って十分にすすぎ、洗った後は水分が残らないように注意してください。

手指が汚れていると、レンズも汚れる場合があります。
水道水が手指に付着していると、手指を介してレンズに水道水が付着し、レンズの膨張や変色が引き起こされる場合があります。また、水道水などには微生物が含まれている可能性もあり、それが原因で感染症などの眼障害を引き起こす危険性がありますので、ご注意ください。

3. 化粧品のレンズへの付着を防ぐために、お化粧はレンズの装着後に行ってください。

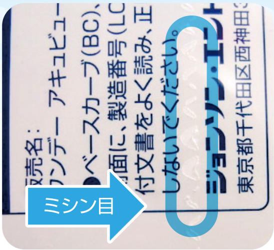
手指を介して化粧品がレンズに付着すると、さまざまなトラブルを引き起こす原因となります。
お化粧をされる場合は、レンズを装着した後に行ってください。
また、マスカラやアイライナーなどのアイメイクが目に入らないようにご注意ください。
お化粧のクレンジング剤が目に入ると、レンズの付着物の原因となる可能性があるため、お化粧落としはレンズをはずした後に行ってください。レンズによっては油分を吸着しやすいため、オイルクレンジングはなるべく避けてください。

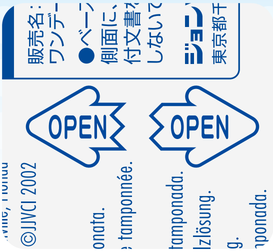


レンズに付着した化粧品のラメ

シュリンク包装の開け方

製品パッケージがビニールで包装（シュリンク包装）されている場合は、パッケージ底面にあるミシン目、または「OPEN」マークの部分からビニールを破いて開けてください。





製品パッケージの開封方法とブリスターパッケージの切り離し方

1. 製品パッケージの開け方

製品パッケージ正面のつまみ部分からフタを引き上げて製品パッケージを開封し、ブリスターパッケージを取り出します。

2. ブリスターパッケージの切り離し方

※ブリスターを切り離す際には、手指を切らないようにご注意ください。

四角いタイプ

この形の
ブリスター

ホイル面を上にしてブリスターを両手で持ち、ブリスターを反らすように山折りにして切り離してください。

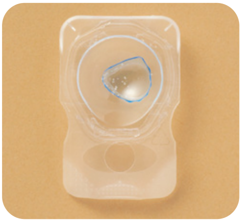
丸みを帯びたタイプ

この形の
ブリスター

ブリスターを両手で持ち、左右に引っ張ってホイルを切り離します。

切り離した後、片方（今回使用しないレンズが入ったブリスター）のホイルが破れていないか確認してください。
ホイルが破れていると、保管中に保存液が蒸発し、レンズも乾いてしまいます。
ホイルが破れてしまった場合は、破れた方のレンズからご使用ください。

ホイルが破れたブリスター（一例）



ホイルが破れていたために保存液が蒸発し、塩化ナトリウムの結晶（白い粒）が残っている

開封前のレンズの確認

ブリスターパッケージ上の度数を確認して、左右取り違いのないようにご注意ください。
ブリスターを軽く振って、ブリスターパッケージ内でレンズが保存液中に入っているかご確認ください。
レンズの外観上に、変形、変色、異物・汚れの付着、キズ、破損などの異常が無いこともお確かめください。異常があった場合はご使用をお避けください。

ホイルのはがし方

アルミホイルは、アルミニウムにビニール膜が重ねられた構造となっております。このアルミホイルを開ける際に、アルミホイルを斜めに寝かせて引っぱると、アルミニウムのみが剥がれて、ビニール膜が容器上に残ってしまうことがあります。

片方の手でブリスターパッケージをしっかりと持ち、もう片方の手でアルミホイルを持ち、一旦ホイルを真上に引き上げるように少しはがしてから、ホイルを垂直方向に引き上げるようにゆっくり開封されますと、ビニール膜が残らずきれいに開封することができます。

このとき、ホイルやブリスターの縁で手を切らないように、ご注意ください。

○

アルミホイルを真上に引き上げて

上方向に引き上げるように開封

膜は残らず、きれいに開封

×

アルミホイルを曲げて

斜めに寝かせて引っ張って開封

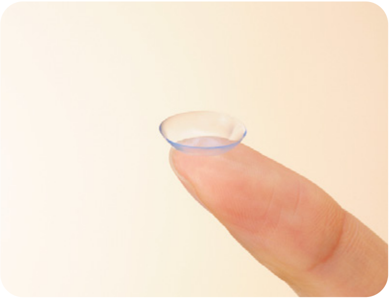
膜が残ってしまう

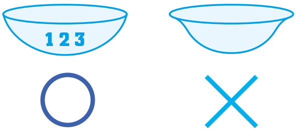
レンズを取り出す

保存液に人さし指を入れ、ブリスターのカーブに沿うようにして指の腹でそっとレンズをすくい上げ、水分を軽く切って取り出してください。このとき、爪などでレンズを傷つけないように注意してください。

開封後のレンズの確認

レンズを取り出したら指の上に乗せ、レンズ上のマークやレンズの形状で表裏を確認し、レンズに欠けや破れ、変形等の異常が無いことも確認してください。
レンズに異常があった場合は装用しないでください。





レンズのつけ方・はずし方

レンズのつけ方

❶ 指で目を大きく開く

レンズをのせた手の中指で下まぶたを下に引っ張り、もう一方の手の人さし指で上まぶたを引き上げ、目を大きく開きます。

❷ くろ目の上にのせる

人さし指にのせたレンズをくろ目の上にゆっくりのせます。

❸ 目を閉じる

ゆっくりと何度かまばたきをすると、レンズがくろ目の上で安定します。

❹ 装着を確認する

もう一方の目を手でかくし、レンズが正しく装着され、よく見えるかどうか確認します。

❺ もう一方の目にも同じ方法でレンズ装着します

レンズのはずし方

❶ レンズをずらす

人さし指でレンズをくろ目より少し下にずらし、レンズ下方約半分がしろ目の上にのるようにします。
（レンズをずらさずに無理にはずすと角膜を傷つけることがあります。レンズが動きにくいときは、数回ゆっくり大きくまばたきをするか、眼科医の指示に従いソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼して、十分に水分を含ませてからずらしてください。）

❷ レンズをつまむ

親指と人さし指の腹でレンズの下方をつまんで取り出します。
（このとき爪で目を傷つけたり、レンズを破損しないように注意してください。）

※レンズをはずす前にも手を洗ってください。お化粧落としはレンズをはずしてから行ってください。

レンズケア（レンズの洗浄方法）

最長2週間交換終日装用タイプのコンタクトレンズは、いずれの製品もレンズケアが必要です。レンズを目からはずした際は、必ずレンズケアを行ってください。レンズケアに使用できるケア用品については、眼科医にご相談ください。いずれの製品も化学消毒剤のみ使用できます。煮沸消毒はしないでください。

● 一般的な1液タイプのMPS化学消毒剤の例

手を洗った後、レンズをはずします。はずしたら、すぐにレンズを手のひらに載せて、化学消毒剤を適量注ぎます。

レンズを一方向にこすって洗います。表裏ともに十分に洗ってください。
特に、「アキュビュー アドバンス」や「アキュビュー オアシス」などのシリコーンハイドロゲル製のレンズは、油分を吸着しやすい性質のため、油分が固まらないうちに、レンズをはずしてすぐによく洗ってください。

きちんと洗った後は、化学消毒剤でよくすすいでください。

※ ケア方法については、お使いのケア用品の取り扱い説明書に従ってください。

レンズの保管方法

直射日光を避け、室温（1℃〜30℃程度）で、清潔な場所で保管してください。

ケアをして保管する場合：

レンズの洗浄等を行った後、レンズ全体が完全に浸る量の化学消毒剤を入れたレンズケース（過酸化水素系消毒剤の場合は各専用ケース）に保管してください。このとき、右目用と左目用のレンズを入れ違えないようにご注意ください。また、水道水等、化学消毒剤以外の液体が混入しないように注意してください。

※ レンズを浸ける液体については、お使いのケア剤の取り扱い説明書に従ってください。

※※ 水道水が混入すると、レンズの変形、膨張、変色を招く恐れがあります。
また、水道水などには微生物が含まれている可能性もあり、それが原因で感染症などの眼障害を引き起こす危険性がありますので、ご注意ください。

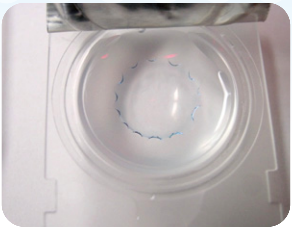
レンズを装用する際は、レンズケースから取り出した後、レンズをMPS 化学消毒剤ですすいでから装用してください。

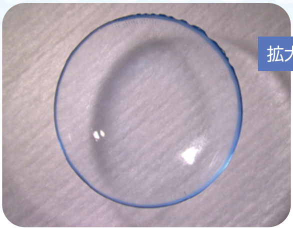
レンズケース内で微生物が繁殖しないように、レンズを取り出した後、フタとケースをよく洗って、フタを開けて自然乾燥させて、常に清潔にしてください。また、定期的（１〜３カ月ごと）に新しいレンズケースに取り替えましょう。

レンズに異常が起きる原因、その対処方法

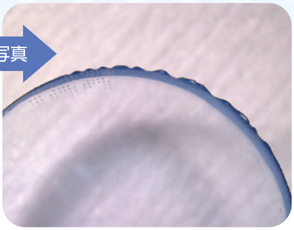
レンズの縁が波を打っている

● 波打ちの例





拡大写真



考えられる原因

ブリスター容器内でレンズが完全に保存液に浸漬していない場合、およびレンズがレンズケース内で化学消毒剤に完全に浸っていない場合には、レンズが十分な水分を含んでいないことが考えられるため、そのようなレンズを取り出したとき、または化学消毒剤等にレンズを浸けたとき、一時的にレンズの縁が波打つことがあります。ブリスターパッケージを開封したときにこのような変形が起きている場合は、レンズを装用しないでください。

予防策

このような変形を防ぐためにも、ブリスターパッケージを開封する前にレンズが保存液の中に入っているかを確認してください。

レンズがホイルや容器に張り付いている場合は、容器を軽く振ってレンズを保存液中に戻してください。戻した後、3分間以上保存液に浸けて、レンズに十分な水分を含ませた後でブリスターを開封してください。開封後、レンズを装用する前によく確認して、異常があれば装用しないでください。

最長2 週間交換終日装用レンズの場合、ケアの後でレンズケース等にレンズを保存する際は、レンズ全体が完全に浸る量の保存液にしっかりとレンズを浸してください。

また、レンズをブリスターやレンズケースから取り出したら、レンズの表裏、異常の有無を確認し、異常が無ければすぐに装着してください。エアコン等からの風が直接当たるような環境下での装着は避けてください。

レンズが変形している

考えられる原因

製品を輸送する間の揺れ等の影響で、レンズがホイルやプラスチック容器に張り付いていた場合やレンズがカールしていた場合には、レンズを取り出した際に写真のように変形している場合があります。あるいは、一液タイプのMPS 化学消毒剤でレンズケアする際、レンズのベースカーブ側(凹んでいる面)が下を向いた状態でレンズケースの中に入れますと、レンズの縁がケースに張り付いて、写真のように変形してしまう場合があります。
特に、弊社のシリコーンハイドロゲル製のレンズは、形状を保持する性質があるため、変形したまま戻りにくい場合があります。このような変形は装用感や見え方に影響を及ぼすものではないため、ご装用いただけますが、万一、違和感等を感じられた場合はレンズを外して、眼科医にご相談ください。

● 変形の例

予防策

ブリスターパッケージを開封する前に、レンズが保存液の中に入っているかを確認してください。レンズがホイルや容器に張り付いている場合は、容器を軽く振ってレンズを保存液中に戻し、しばらくレンズを保存液中に浸けてからご使用ください。
一液タイプのMPS 化学消毒剤でレンズケアをする際は、レンズの凹面が上になるようにレンズケース内に入れてください。

レンズ装用開始数日後に見えにくくなった／曇ってきた

考えられる原因①

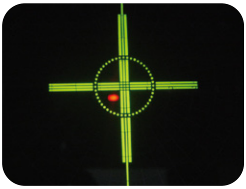
左右レンズの取り違いが考えられます。「レンズを装用しても見えない」とのご指摘を受けて、当該レンズを調べた結果、右目用と左目用のレンズを取り違えて装用されている場合が多く見受けられます。

①に対する予防策

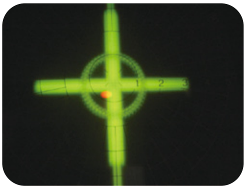
取り違いを防ぐために、レンズを装用する際にはブリスター容器のパワー表示などでレンズの左右の確認を行ってください。レンズをレンズケースに保管される場合は、ケースの左右を確認してケースへの入れ間違いやケースからの取り間違いをしないようにお気をつけください。

考えられる原因②

レンズが十分に水分を含んでいない場合、見えにくくなってしまう可能性が考えられます。



十分に水分を含んだ
レンズの見え方（イメージ）



水分が不十分な
レンズの見え方（イメージ）

②に対する解決策

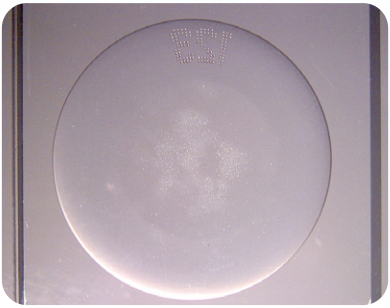
眼科医に指示されたソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼して、レンズに水分を含ませることが解決策のひとつとして考えられます。最長2 週間交換終日装用レンズの場合は、レンズを一度はずし、ブリスターパッケージ内保存液やマルチパーパスソリューションにレンズを浸して、レンズに水分を十分含ませることも一案です。このような対処を行っても症状が改善しない場合は、眼科医にご相談ください。

②に対する予防策

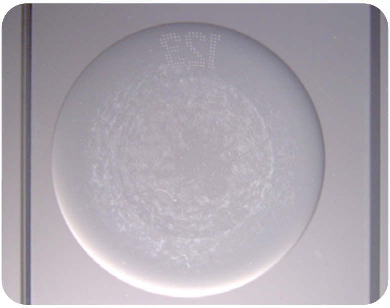
レンズをブリスターやレンズケースから取り出したら、レンズの表裏、異常の有無を確認し、異常が無ければすぐに装着してください。エアコン等からの風に目を長時間当てないようにしてください。レンズを装用してテレビやコンピューターの画面を長時間見つづけると、目が乾くことがありますので、常に完全にまばたきをするように心がけてください。

考えられる原因③汚れの付着

埃などの生活上の種々多様な物質や、涙液に含まれる成分（タンパク質・カルシウム・脂質など）がレンズに付着することがあります。これによって、目では認識しづらい白い膜のような汚れがレンズ上に発生し、ものが見えにくくなる場合があります。また、化粧品、整髪料、ハンドクリーム等に含まれる油分の付着によって、そのような現象が起こることもあります。



タンパク質が付着したレンズ



油分が付着したレンズ

③に対する解決策

最長2週間交換終日装用タイプのレンズは、医師の指示に従って、*ケア用品で、取扱説明書に基づき、レンズをこすり洗いしてみてください。油分は冷えると固まるため、レンズをはずした直後にこすり洗いをしてください。洗った後も状態に変化が無い場合は、眼科医にご相談の上、その指示に従ってください。

＊ こすり洗いが特に必要とはされていないケア用品をご使用の場合は、眼科医にご相談ください。
※ 付着物が目視で認識でき、洗浄しても除去できない場合は、弊社フリーダイヤルまで、ご連絡ください。

③に対する予防策

レンズ装着脱の前には、必ず石けんで手をよく洗ってください。お化粧は、レンズの装着後に行ってください。その際、マスカラなどのアイメイクやファンデーションが目に入らないようにご注意ください。また、お化粧を落とす前にレンズをはずしてください。

保存液が目にしみる(レンズをつけたら、目にしみた)

考えられる原因①

目の具合や体調、生活環境の影響によって目が乾いているときにレンズを装用すると、目薬が目にしみるように、保存液がしみて目に軽い刺激を与える可能性が考えられます。

①に対する予防策

レンズ装用前に目に乾燥感があるときは、眼科医から指示された目薬で目を潤した後で、レンズを装用してください。

考えられる原因②

レンズを装用する際に、手指を介して石けんや化粧品などが混入した場合に刺激を感じることがあります。

②に対する予防策

石けんの混入を予防するため、手を洗った際はしっかりすすいで、手の水分は拭き取ってください。化粧品やハンドクリーム等が目に入らないよう、レンズ装着脱の際にはお気をつけください。

※①や②の予防策をおこなった後でレンズを装着してもしみる場合は、直ちにレンズをはずして、眼科医に相談してください。

レンズが目からはずしづらい

考えられる原因

レンズが乾燥し、目に張り付いている可能性が考えられます。また、弊社のシリコーンハイドロゲル製のレンズは、材質上滑りやすく、はずしづらいことがあります。

解決策

無理にはずそうとせず、8ページに記載されている<レンズのはずし方>に従って、ゆっくりはずしてください。乾燥している場合は、眼科医の指示に従い、ソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼して、レンズを潤わせた後ではずしてください。

レンズが変色した

青、灰色、黒、緑色などに変色

考えられる原因

マスカラやアイライナーなど、化粧品に使用されている色素（分子が小さいもの）がレンズに浸透してしまったために変色することが考えられます。この場合、レンズを洗浄しても色は落ちないことがあります。色が落ちない場合はレンズは使用しないでください。

灰色に変色したレンズ

予防策

目の周辺にお化粧をされる際は、目の中にマスカラなどのアイメイクが入らないようにご注意ください。

白く変色

考えられる原因

涙に含まれるタンパク質や脂質、手に残った化粧品やクリーム、整髪料などが付着している可能性が考えられます。

解決策

最長2週間交換終日装用タイプのレンズは、医師の指示に従って、*ケア用品で、取扱説明書に基づき、レンズをこすり洗いしてみてください。洗った後も状態に変化が無い場合は、眼科医にご相談の上、その指示に従ってください。付着物が目視で認識でき、洗浄しても除去できない場合は、弊社フリーダイヤルまで、ご連絡ください。

＊ こすり洗いが特に必要とはされていないケア用品をご使用の場合は、眼科医にご相談ください。

予防策

レンズ装着脱の前には、必ず石けんで手をよく洗ってください。お化粧は、レンズの装着後に行ってください。その際、マスカラなどのアイメイクやファンデーションが目に入らないようにご注意ください。また、お化粧を落とす前にレンズをはずしてください。

レンズがカールしている

考えられる原因

レンズデザイン等の影響により、主に製品の輸送過程でレンズが容器の中でカールする現象が発生することがあります。また、レンズケア後、レンズケース内でカールする可能性もあります。

カールしているレンズ

解決策

開封前にブリスターパッケージを振ると元に戻ります。もし、それでもカールした状態が続くようであれば、ブリスターを開封して保存液にレンズを入れたまま、レンズを指でやさしく開いてください。
あるいは、手のひらにレンズと保存液をのせ、指でやさしくレンズを開いてください。破損、キズ等が無いことを確認の上装着していただければ、そのつけ心地や見え方には支障が無いことが確認されています。
万が一、装着後に違和感や痛みなどを感じた場合には直ちにレンズをはずし、眼科医に相談してください。
カールした状態が戻らない場合は、弊社フリーダイヤルまでご連絡ください。

予防策

レンズケアが必要なレンズをご使用のお客様で、MPS化学消毒剤をお使いの方は、レンズをはずして、洗浄　凹面が上になるようにレンズケースの中に入れ、レンズ全体が浸かる量のMPS 化学消毒剤を入れ、レンズをしっかり浸けてください。

守っていただきたい4つのルール

ジョンソン・エンド・ジョンソンでは、使い捨てコンタクトレンズ「アキュビュー」製品をさらに快適にお使いいただくために、日々製品の改良につとめています。
しかし目の健康のためには、それだけでは十分でないと考えています。どんなに品質の高い製品であっても、コンタクトレンズが目にとって異物であることに違いはありません。
正しくご使用いただかなければ、ときには目に障害を引き起こすこともありえます。
安全で快適なコンタクトレンズライフをお送りいただくために、以下の「4つのルール」を必ず守ってください。「4つのルール」には、現在起こっているコンタクトレンズによるさまざまなトラブルの原因を分析した上で、最も大切と思われるポイントが盛り込まれています。

❶ 眼科医の検査•処方を受けましょう。

❷ 正しい装用方法を守りましょう。
・決められた期間内に交換しましょう。
・一日の装用時間を守りましょう。

❸ 定期的に目の検査を受けましょう。

❹ 適切なレンズケアを行いましょう。（ケアの必要なレンズの場合）

買う日・捨てる日メール

「買う日・捨てる日」メールは、事前に購入・交換日をメールでお知らせするので、うっかり買い置きのレンズを切らすことも、交換し忘れることもなくとても便利です。
「買う日・捨てる日」メールは、つねに清潔なレンズをお使いいただくお手伝いをします。目の健康のためにコンタクトレンズを正しく使いましょう。

特徴 ❶
無料でお届けするサービスです
「アキュビュー」製品をお使いの方にご利用いただける無料のメールサービスです。
（通信費用などは利用者様のご負担となります）

特徴 ❷
ご都合に応じて便利に使えます
パソコン、携帯電話（i-mode/SoftBank/EZweb）からご利用いただけます。
さらに配信時間などの細かな設定もできます。

特徴 ❸
登録、変更も簡単操作です
登録や変更もプルダウンリストで指定するだけ。メール配信日や配信時間の設定も可能です。

▶ **http://acuvue.jnj.co.jp** にアクセスしてご利用ください。

ご登録には右のQRコードを使用すると便利です。
※QRコード対応の携帯電話でのみご使用になれます。（機種によってはアクセスできない場合があります。）

特にご注意いただきたいこと

◯メガネおよび予備のレンズ（必要な場合にはケア用品も）を常に携帯してください。
◯レンズは非常に薄くつくられていますので取り扱いには十分注意してください。
◯コンタクトレンズ装用にともなう目の症状などについては、処方を受けた眼科医にご相談ください。
◯「最長2 週間交換終日装用ソフトコンタクトレンズ」にはケア用品類が必要です。
◯少しでも異常を感じたら直ちにレンズをはずして、眼科医の検査を受けてください。
◯UV吸収剤を配合したコンタクトレンズは、UV吸収サングラスなどの代わりにはなりません。

製品の品質に関するお問い合わせ

製品の品質には万全を期しておりますが、**万一レンズや包装容器に異常を発見した場合には使用せず**、下記の弊社フリーダイヤルにお問い合わせください。
お電話の際は、お手元に異常を発見した製品をご用意ください。

ひと み に さ わ やか
0120-132-308

オペレーター受付時間／9:00～18:00（日・祝日を除く）
自動音声の案内に従い※1を押していただきますとオペレーターにつながります。
※携帯電話からもご利用いただけます。

ホームページアドレス
http://acuvue.jnj.co.jp
パソコン、携帯電話でご利用いただけます。

ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社
ビジョンケア カンパニー
東京都千代田区西神田3丁目5番2号

承認番号：20300BZY00736000／20600BZY00128000／20500BZY00282000／21600BZY00408000
21700BZY00541000／21800BZY10251000／21800BZY10252000／22200BZX00226000／22000BZX00369000

Ⓡ 登録商標　©J&J KK 2008-2011

ZC243